



甘楽中学校の取り組み

三年ぶり！合唱大会実施

今年、甘楽中学校で三年ぶりに合唱大会を行いました。コロナ禍で一度の延期はありましたが、学年ごとの発表で保護者にも参観していただき、たくさん努力と工夫で実施することができました。

甘楽中学校
校長 井上高広
生徒 313人

一・二年生は一生懸命に取り組み、質の高い合唱ができました。特に三年生にとっては、入学してから初めての合唱大会で、最上級生として立派な合唱を聴かせてくれました。素晴らしい合唱で甘楽中の新たな伝統の土台を作ってくれたと思います。

そこで、今回は合唱大会をテーマに、各クラスの代表の生徒に感想を聞きました。

「成長させてくれた合唱」
一年生

一組 齋藤功登
僕は、指揮者を担当しました。強弱の表現や腕をふるスピードなど、友だちや先生からアドバイスをもらいながら練習し、良い結果を残すことができ、本当にうれしかったです。

二組 高橋陽和
私たちのクラスは、たくさん練習を積み重ね、みんなで心を一つ



他学年は教室でモニター観賞



1年生

にして歌い続けることができた。クラスの仲間と深まり、最優秀賞をとることができて、最高の思い出になりました。

三組 茂原衣颯
たくさん練習して、みんなで修正点を話し合っ、少しずつ合唱が良くなっていききました。僕たちの合唱をコロナ禍になって初めて、保護者の方に聴いてもらうことができて良かったです。

「クラスの絆が深まる」
二年生

一組 山田ひまり
私は、この合唱大会で得たものがたくさんあります。クラスの団結力や合唱の楽しさ、最優秀賞がとれなかった悔しさ、合唱についての新しい知識などです。修学旅行に続き二回目の大きな行事を経験し、特に団結力は深まってきています。この経験を三年生へとつなぎ、さらに大きなものにできるようにしていきたいと思っています。

二組 畑中瑠生
三年ぶりの合唱大会はどの学年も経験したことがなかったため、ワクワクする思いの一方で、どうなるかわからない不安もありました。その中で昼休みや放課後の時間を使い、だんだんと練習を増やし、クラスの絆を深めました。大会当日は、自分たちの順番が近づくと緊張していましたが、堂々と歌うことで最優秀賞をとることが



2年生

三組 恩幣陽菜
初めての合唱大会で不安もありましたが、日々の練習でクラスのみんなが良い合唱にしようとして一生懸命努力し、その成果が本番で存分に発揮でき、最高の合唱にすることができました。最優秀賞はとれなかったけれど、学級目標の一つである「一致団結」を達成し、クラスの仲間と深まり、良い経験ができました。みんなと歌うことができ、本当に良かったです。

ポジティブ(肯定的)な声かけを

近頃、人の発する言葉に過敏な子どもたちに出会うことが増えてきました。「くしないで」「くはだめ」と言われると必要以上に落ち込んで立ち直れなくなってしまう、友だちと上手く付き合えなくなり、しまいには学校に通えなくなる子どもも出てきます。言葉を否定的に解釈し過ぎる人たちがこの世の中に結構いるのではないかと感じています。

教育相談室
◆問い合わせ・相談申込
学校教育係
または
言語指導教室

以前、多忙な人に気遣いから「無理しないでね」と言ったところ、その人はなぜか不快な様子でした。私の本心は「毎日忙しいから無理せずに体を大切に頑張って」という励ましの意味でしたが、相手は自分を否定されたと感じたようです。

結局、英語で訳した時に「Don't」を用いる言葉は使わない方が良く、ではないかという結論にいきつきました。

提言

ささいな注意やジョークであっても、全人格を否定されたような気分になってしまうのなら、むやみに注意して相手を必要以上に傷つけたくないと思います。

それ以来、発する言葉に気をつけています。「走らないで」ではなく「歩こう」、「だめ」ではなく「○○したらもっとかっこいい」など。日頃から肯定的な言葉を使用することで、人間関係がより平和で温かくなるような気がしています。

「最初で最後の合唱大会」
三年生

一組 吉岡咲茅
私たちのクラスは、最初から声が出なかったり音程がずれてしまったりと不安なことがたくさんありましたが、改善点について本音で話し合い、練習日以外も自主練習をするなどの努力により最優秀賞をとることができました。最初で最後の合唱大会だったけれど、全員が合唱に集中して練習できたので、クラスの絆もより深まりました。この勢いのまま受験も一人一人頑張っていけます。

二組 大類亨介
この合唱コンクールは、誰もが初めてのことで、右も左も分からない状態からのスタートでした。僕らは「最優秀賞をとる」という目標を掲げ、休み時間や放課後の練習を必死になって行いました。担任の先生も協力してくれ、クラス一丸となって練習に励みました。そんな毎日は大変でしたが、とても充実した日々を過ごすことができました。努力を続けられる人は誰もが美しく、力強い」と、クラスのみみんなを見て感じました。

三組 浅香杏優
私たち三年生にとって、合唱大会は今年が最初で最後の大会です。



3年生

た。私たちのクラスが歌った「群青」の中で「当たり前が幸せと知った」という歌詞があり、コロナ禍で当たり前前にならなくなった生活の中、私たちにこの言葉が強く印象に残っています。仲間と合唱をつくり上げた思い出や歌うことのできる喜びは、この先もずっと私たちの記憶に残ると思います。私たちを最後まで支えてくれた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。